

2021年3月30日

外国ルーツ青少年支援における企業連携
「誰ひとり取り残さない」未来を実現するために

特定非営利活動法人青少年自立援助センター
定住外国人支援事業部 責任者
田中 宝紀（たなか・いき）

NPO法人青少年自立援助センター

1977年前身となったフリースクール開設。1999年NPO法人化。
困難を有する子ども・若者の自立を支え続けています。
従業員数 140名、東京都福生市（本部）・足立区・板橋区・荒川区・八王子市

◆定住外国人支援事業部：

2010年度立ち上げ。2020年度常勤職員13名、非常勤職員 14名

2010年4月 文部科学省「定住外国人の子どもの就学支援事業」（虹の架け橋事業）受託

2013年5月 **自立・就労支援事業開始**

（厚生労働省認定事業地域若者サポートステーション“サポステ”との連携）

2015年3月 自主事業化（サービスの有料化）

教育支援事業名称を「YSCグローバル・スクール」へ変更

内部奨学金基金制度開始

2016年11月 **遠隔教育：「NICO|にほんご×子どもプロジェクト」サービスイン**

2018年4月 YSCグローバル・スクールを新施設へ移転

2018年9月 足立区内に事業所を立ち上げ

2020年4月 **公益活動法人における海外ルーツ青少年受入推進事業（minc）立ち上げ**

足立区困窮世帯の海外ルーツの子ども学習支援事業受託（竹ノ塚へ移転）

2021年4月 あだち・竹の塚教室自主事業化



拠点：東京都福生市・足立区



【YSCグローバル・スクール/NICOプロジェクト（遠隔教育）】

海外にルーツを持つ子ども・若者のための専門教育支援事業

- 対象者層：6歳以上～就労を目指す若者（30代）まで（10代が最も多い）
- 利用者数：年間約140名（2020年度は214名）
- 利用形態：通所ベース7割、オンラインベース3割
- ルーツ：フィリピン、中国、ネパール、ペルー、ガーナ、ギニア、アメリカなど

- 受講料：利用コースと回数により、月2,000円～42,000円
- 家庭状況：経済的に困難な家庭・ひとり親家庭約3割→奨学金等による減免・無償化（奨学金のための資金はクラウドファンディングや寄付金などを活用）
- 在留資格：永住・定住3割、家族滞在3割、日本国籍1割、その他特定活動など



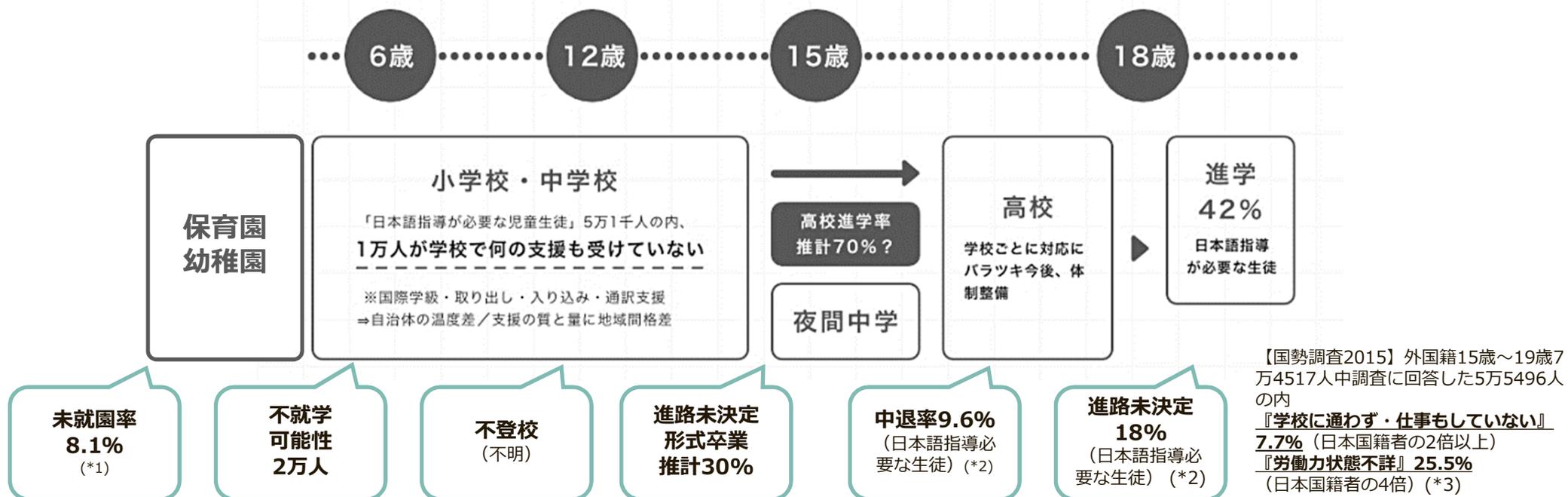
年間行事：運動会、文化祭、サマーキャンプ（1泊2日）、地域祭り模擬店出店、遠足、社会科見学、大学キャンパスツアー、プログラミング、キャリア教育、外国人保護者向け進学・就学ガイダンスなど

日本語学校×高校進学予備校×フリースクール×塾

	月曜日 Monday					火曜日 Tuesday					水曜日 Wednesday					木曜日 Thursday					金曜日 Friday				
9:10-9:20	朝の会 Morning Assembly																								
9:20 10:10	NICO 日本語 プレ クラス	NICO 日本語 ブリッジ クラス	NICO 日本語 ジャンプ クラス	NICO 高校進学 プレップ クラス	ステップ クラス	日本語 プレ クラス	日本語 ブリッジ クラス	日本語 ジャンプ クラス	高校進学 プレップ クラス	ステップ クラス	日本語 プレ クラス	日本語 ブリッジ クラス	日本語 ジャンプ クラス	高校進学 プレップ クラス	ステップ クラス	日本語 プレ クラス	日本語 ブリッジ クラス	日本語 ジャンプ クラス	高校進学 プレップ クラス	ステップ クラス	日本語 プレ クラス	日本語 ブリッジ クラス	日本語 ジャンプ クラス	高校進学 プレップ クラス	ステップ クラス
10:20 11:10	Nihongo Pre Class	Nihongo Bridge Class	Nihongo Jump Class	Prep Class	Step Class	Nihongo Pre Class	Nihongo Bridge Class	Nihongo Jump Class	Prep Class	Step Class	Nihongo Pre Class	Nihongo Bridge Class	Nihongo Jump Class	Prep Class	Step Class	Nihongo Pre Class	Nihongo Bridge Class	Nihongo Jump Class	Prep Class	Step Class	Nihongo Pre Class	Nihongo Bridge Class	Nihongo Jump Class	Prep Class	Step Class
11:20 12:10																									
12:10 1:10	昼休み Lunch Break																								
1:10-1:20	掃除 Cleaning Time																								
1:20 2:10	日本語 プレ クラス	日本語 ブリッジ クラス	日本語 ジャンプ クラス	高校進学 プレップ クラス	ステップ クラス	日本語 プレ クラス	日本語 ブリッジ クラス	日本語 ジャンプ クラス	高校進学 プレップ クラス	ステップ クラス	日本語 プレ クラス	日本語 ブリッジ クラス	日本語 ジャンプ クラス	高校進学 プレップ クラス	ステップ クラス	日本語 プレ クラス	日本語 ブリッジ クラス	日本語 ジャンプ クラス	高校進学 プレップ クラス	ステップ クラス	日本語 プレ クラス	日本語 ブリッジ クラス	日本語 ジャンプ クラス	高校進学 プレップ クラス	ステップ クラス
2:20 3:10	Nihongo Pre Class	Nihongo Bridge Class	Nihongo Jump Class	Prep Class	Step Class	Nihongo Pre Class	Nihongo Bridge Class	Nihongo Jump Class	Prep Class	Step Class	Nihongo Pre Class	Nihongo Bridge Class	Nihongo Jump Class	Prep Class	Step Class	Nihongo Pre Class	Nihongo Bridge Class	Nihongo Jump Class	Prep Class	Step Class	Nihongo Pre Class	Nihongo Bridge Class	Nihongo Jump Class	Prep Class	Step Class
3:10-3:20	帰りの会 Assembly before Leaving School																								
3:20 4:10						NICO 日本語キッズ みづば Nihongo kids "MITSUBA"																			
4:10 5:00	キッズ ホープ Kids 'HOPE'	キッズ チャレンジ Kids 'CHALLENGE'	N3対策 JLPT-N3 Preparation			日本語キッズ みづば Nihongo kids "WAKABA"	日本語キッズ よつば Nihongo kids "YOTSUBA"	キッズ チャレンジ Kids 'CHALLENGE'			キッズ ホープ Kids 'HOPE'	キッズ チャレンジ Kids 'CHALLENGE'			日本語キッズ みづば Nihongo kids "WAKABA"	日本語キッズ よつば Nihongo kids "YOTSUBA"	キッズ チャレンジ Kids 'CHALLENGE'				学習 えしてん "EDISON" Study	キッズ ホープ Kids 'HOPE'	キッズ チャレンジ Kids 'CHALLENGE'		
5:10 6:00		グローバル アフター スクール 中1	グローバル アフター スクール 中2	放課後 プレップ クラス		日本語キッズ みづば Nihongo kids "AOBA"		グローバル アフター スクール 中2	放課後 プレップ クラス		キッズ "CHALLENGE"	グローバル アフター スクール 中1	グローバル アフター スクール 中2	放課後 プレップ クラス	日本語キッズ みづば Nihongo kids "AOBA"		キッズ "CHALLENGE"	グローバル アフター スクール 中2	放課後 プレップ クラス		えじそん "EDISON"	キッズ "CHALLENGE"	グローバル アフター スクール 中1	グローバル アフター スクール 中2	放課後 プレップ クラス
6:10 7:00		Global After School G7	Global After School G8	Prep After School				Global After School G8	Prep After School			Global After School G7	Global After School G8	Prep After School				Global After School G8	Prep After School		"EDISON"		Global After School G7	Global After School G8	Prep After School

教育と就労の外側にいる子どもたち

(*1) 【『保育園に通えない子どもたち―「無園児」という闇』、可知悠子、2020年4月、筑摩書房】参照。
 (*2) 【『「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査（平成30年度）」の結果について』、文部科学省】参照。
 (*3) 【にほんでいきる「外国籍の不就学・不就労、日本籍の2倍超 言語教育足りず」】毎日新聞（2020年2月25日）、参照。



セーフティネットが不足/機能しない

ボランティア・NPO等による支援の限界

- * 多くを無給のボランティアが担う。週1回程度で量的に不足しがち
 (不就学・不登校・進路未決定児童生徒の受け皿になりづらい/若者が参画しづらい)
- * ボランティア自身の「高齢化」が進行 (支援の担い手不足)
- * 学習支援以外の資源が少ない (複合的課題への対応が困難)

15歳以上の中退者、進路未決定者等への支援が手薄

- * 定住外国人の高校中退者や10代後半の若者に対する、ボランティア等による支援やキャリア教育等の取り組みも (まだ) 限定的
- * 日本人を主な対象とした 若年無業者に対する自立・就労支援や、学び直しのための学習・居場所支援へのアクセスは限られている。(海外ルーツの若者の「働く」を支える取り組みが不十分)

不就学の可能性がある子ども

文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課、令和2年3月、
『外国人の子供の就学状況等調査結果（確定値）概要』より田中宝紀作成

調査基準日 =令和元年5月1日 n=1,714 単位：（人）	A 住民基本台帳上の人数	就学		不就学	出国・帰国（予定含）	就学状況確認できず	計 ①～⑤の合計	B 住民基本台帳上の人数との差
		① 義務教育諸学校に就学	② 外国人学校等に就学	③ ①、②のいずれにも就学していないことが確認できた子ども	④ 実態としてすでに転居・出国またはその予定であることが確認できた子ども	⑤ 案内の送付、家庭訪問、電話などにより確認を試みたが確認できなかった子ども		
小学生相当	87033	68237	3374	399	2204	5892	80106	6960
中学生相当	36797	28133	1649	231	803	2766	33592	3223
合計	123830	96370	5023	630	3017	8658	113698	10183

不就学 + 就学状況不明 + B = 19,471人

- ②「外国人学校等」には認可・非認可を含み、その質や内容、形態等については学校間の格差が大きい。
- ③ 不就学の発生要因については一様ではなく、いくつかの要因の類型に基づき、適切な取り組みを行う必要がある。（後述）
- ④ 実際には長期間にわたって転居・帰国しないケースや転居後に不就学となっているケースもあり、“自宅待機”と呼ばれることも
- ⑤ 就学状況の確認を試みていない子どもについては含まず、Bに含まれていると考えられる。

就学問題の発生要因別整理：1

現状・課題

入学・編転入等 手続きに起因

- ・就学案内が送付されない
「外国人は日本の学校に行けないと思った」
- ・就学案内が送付されても理解できない
「日本語で書いてあってわからない」
翻訳された文章自体の表現が難しく、母語でも理解できない
- ・就学に係る説明が不十分
就学手続きがわからず、そのままになってしまう

提案

- ・就学促進体制の整備
入国前、入国時に就学に関する情報や案内を実施
継続的な実態調査・把握
自治体内における就学案内・手続き、教育規定の整備など
- ・自治体職員、学校教員が活用できる多言語共通フォーマットの提供・活用促進
就学等の手続きに要する書類の共通（参照）フォーマット化+多言語化
文部科学省運営の「かすたねっと」や就学ガイドブック、自治体制作の教材等、
現存する資源について現場で活用しやすい方策の検討
- ・子育て上のタイムラインに沿って、社会的接点を生かした情報提供
不就園等で孤立リスクのある家庭などに保健、医療、福祉等の接点で情報提供
を実施する

「タイミング」 に起因

- ・出身国の教育年度時期が日本と異なる
例：小6学齢の8月に来日したが、出身国ですでに小学校修了しており、
日本の学校に通うつもりがない／通えないと思った
- ・学校側の都合による就学待機
例：1月に来日→年度終了間際だからと4月まで待つよう言われた
運動会の練習が始まってしまい合流できない→運動会終了まで待機

- ・“事実上の「就学拒否」”事例についての調査および対策の検証
就学を希望している場合において、100%手続きが実施されるよう
必要な体制・規定を整備
最低限「学校都合」による対応の差をゼロへ

受け入れ体制 の欠如に起因

- ・日本語ができるようになるまで、就学を見合わせるよう案内される
学校：「支援体制がなく、このまま受け入れても放置になってしまう」
（日本国籍の子どもに対しても同様の対応が行われる場合がある）
- ・日本語がわからない、いじめられる等の不安から不就到学に
例：来日後、外国人コミュニティでいじめを受けた子どもの情報を聞き
怖くなり不就到学に。NPOにつながるまで9か月間自宅ですごした。

- ・日本語教育等受け入れ体制の整備を促進
人材と予算の不足に対し、ICTを活用した遠隔教育や通訳等の工夫により
子ども・保護者だけでなく、学校側も安心して受け入れできる体制を整備
- ・「日本人の子ども」の変容（ダイバーシティ教育・異文化理解教育）
違いに対する理解や他者への寛容・尊重する態度の育成、「おもてなし」
を超えて「共に生きる社会」への理解の育成

就学問題の発生要因別整理：2

現状・課題

移動・「トラブル」 に起因

- ・ 外国と日本を行ったり来たりする中で就学・転入のタイミングを逃す
例：帰国予定で中学校への就学手続きをしなかったが、結果として帰国せず、自宅待機となった
：一時帰国のつもりで夏休みに帰国。再来日が遅れ、その間に除籍となっていた
- ・ 学校側と「トラブル」となり、「退学（除籍）」となる
例：学校・家庭に居場所がなく非行に→学校が保護者とが行き違いのまま除籍に
：不登校となったため、学校判断で除籍に

提案

- ・ 出・入国時、転出入時の就学案内の徹底
移動のはざままで不就学とならないよう、義務教育年齢の子ども「移動」の機会を逃さず捉え、就学を促進する
- ・ 転出入時の手続き等について多言語で情報を提供する
自治体を転出する際に学校や行政に届け出を出さないケースを防止し、子どもが実態として「所在不明」になるケースをゼロに
- ・ 属人的な判断による対応格差を防止
国（都道府県）による原則的な対応基準を提示。現場による、原則を著しく逸脱するケース発生防止の取り組みについて調査・検証する。
- ・ 研修による意識改革
教員養成、免許更新、自治体職員研修等による外国人の子どもへの権利や基本的な対応原則等の研修を実施。必修化の実現に向けて取り組みを推進する。

複合的困難 に起因

- ・ 外国人保護者が精神疾患等の困難を有する
- ・ 貧困
- ・ 在留資格が不安定／無国籍状態など
- ・ その他家庭等の問題によるもの
(DV、ネグレクト、「女子に教育は必要ない」など含む)

**複合的困難による「不就学」は
支援団体でも容易に「発見」できない／対応が困難**

- ・ 「発見の“目”」を増やすための取り組み
自治体による家庭訪問の実施
地域住民による情報提供窓口の設置・啓発
- ・ 「多文化ソーシャルワーカー」の導入・育成
複合的困難への対応は教育と福祉の接合が重要。外国人の子どもや家庭に対する十分な知識やノウハウを有する「多文化ソーシャルワーカー」（または多文化対応スキルを持ったソーシャルワーカー）の導入・育成により、家庭・子ども・保護者の困難に寄り添い支援し、子どもが学ぶ権利を守る。
* スクール・ソーシャルワーカー等は、支援の柱となる存在。専門性の育成や効果的な支援体制の構築のために、ワーカー自身の雇用の安定性確保が重要

「誰ひとり、取り残さない」ために、社会資源の“多文化対応”推進を

外国人の子どもの
就学・教育課題

- ・ 地域間格差
- ・ 支援領域間格差
- ・ 担い手不足



地域や学校、公益活動による取り組みの有無、質、量に存在する格差是正および、多様化する外国人の子どもを取り巻く諸課題に対応するために、既存の社会資源が、「多文化対応」（＝外国人も被受益者であるという視点に基づき行われる必要な配慮、方策）を行えるよう、ガイドラインやマニュアルの策定・研修などの取り組みを実施



- ・ やさしい日本語
- ・ 文化、宗教理解と配慮
- ・ 通訳・翻訳活用
- ・ 特有の課題や情報の基礎理解など

- ・ 福祉、教育等行政サービス
- ・ 公益活動（例：子ども食堂、無料塾など学習支援、フリースクール、社会体験活動など）
- ・ その他民間事業

【NPO法人青少年自立援助センター@公益財団法人国際交流センター外国ルーツ青少未来創造事業】

公益活動団体に対し、「多文化対応スキル」獲得のための講習、実務研修、各団体内での取り組みに対する伴走支援を実施。

・ 2020年度参画団体との事例

① **認定NPO法人育て上げネット**：大手スーパーマーケットにおけるインターンシップを含む就労支援プログラムにおいて、職員研修を実施。

広報やセミナー実施時、面談時に「やさしい日本語」を活用し、外国ルーツの若者が日本人利用者と同一プログラムに参加した。

② **NPO法人e-board**：すでに制作・公開済みの学習動画へ「やさしい日本語字幕」をつけるプロジェクトをサポート。実地検証への協力や体験利用などを推進。